

## 平成 26 年 8 月定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成 26 年 8 月 21 日（木）午後 2 時 40 分～午後 4 時 10 分

2. 場 所 市立公民館・中央地区公民館 3 階 講座室 4

### 3. 出席者

委員長 中野 俊勝 委員長職務代理者 川岸 靖代 委員 谷口 馨  
委員 野口 和江 教育長 樋口 利彦

### 4. 事務局出席者

教育総務部長……………西川 照彦	学校教育部長……………須賀 俊介
生涯学習部長……………藤原 芳治	学校管理課長……………古谷 利雄
総務課長……………大西 謙次	産業高校学務課長……………山本 徹雄
学校教育課長……………寺田 博	人権教育課長……………阪本 美奈子
生涯学習課長……………大和 昇	理事兼スポーツ振興課長…直 清司
郷土文化室長……………小堀 頼子	図書館長……………森 正之
総務課参事……………山田 潤	

開会 午後 2 時 40 分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に野口委員を指名した。

傍聴人 0 名。

### ○中野委員長

ただいまから、8 月定例教育委員会会議を開催します。

### 報告第 41 号 平成 25 年度生徒指導状況のまとめについて

#### ○中野委員長

報告第 41 号 平成 25 年度生徒指導状況のまとめについて、事務局より説明をお願いします。

#### ○寺田学校教育課長

本件は、各学校における生徒指導状況を集約し、本市における問題行動の動向を捉え、今後の指導に役立てるための資料でございます。別紙をご覧ください。小学校、中学校別に問題行動の件数についてまとめたものでございます。

まず小学校においては件数が増加しており、全体的に低年齢化していることが問題です。特に対教師暴力事案の増が大きく、小学校でも指導困難な状況が見られております。また、インターネット上のトラブルに関しても、数件ではありますが報告されています。

また中学校においても件数は増加しています。遊び非行型等の心因性以外による不登校が増えてきております。いじめ認知件数も増加しておりますが、これは昨年度の事例を踏まえ、各学校がよりきめ細かく子どもたちの観察を行っているものであると考えます。

ちなみに、今年度7月までの期間の暴力行為は抑制傾向にありますが、今後も引き続き、教育相談室やスクールカウンセラー等の関係機関と連携をとりながら組織での対応に努めてまいります。

#### ○中野委員長

大阪府教育委員会から児童・生徒の問題行動5段階レベルの対応指針が示されましたが、これについて、研修等を含め教員への周知徹底は実施されていますか。

#### ○寺田学校教育課長

各学校には、いじめ防止の基本方針作成並びに組織づくりのための資料として配布しており、周知徹底を図るよう指導しています。

#### ○谷口委員

心因性以外による不登校が増えていることについて、どのように考えられていますか。

#### ○寺田学校教育課長

家庭環境が安定することで改善できる点も多いと考えており、担任による家庭訪問、生徒指導担当による保護者との話し合いはもちろんのこと、スクールソーシャルワーカーが生活保護の受給方法を説明する等、福祉的な側面からも家庭を支える等の対応に努めております。

#### ○谷口委員

資料の数字は、全国や大阪府レベルではどの程度の位置づけになりますか。

#### ○寺田学校教育課長

平成24年度の暴力行為における1000人率（児童・生徒1000人の中における発生率）で比べますと、小学校では全国が1.2、大阪府が2.4、岸和田市が17.6、中学校では全国が11.3、大阪府が29.9、岸和田が47.1となり、数値だけを見ると課題が大きいと言える結果です。

データの取扱い方で数値自体は変わってきますが、厳しい数値ではあるため、下げるための努力は継続して行ってまいります。

#### ○須賀学校教育部長

本市では暴力行為について、明確な判断基準がないため数値が高めに出ていると思われま。とかく数字が独り歩きしがちなので、基準を示した上で件数の把握に努めてまいりたいと考えています。

#### ○中野委員長

小学校と中学校の不登校者数を比較すると3倍以上になっています。このような状況の中、小学校の教員が中学校の授業等を見学し、生徒指導等に関する研究会を行っているとお聞きしており、今後も拡充・発展して欲しいと思います。

他に、危険ドラッグの問題、児童虐待の問題等、表には記載されていない問題もありますが、全ての基本は子ども達の観察から始まります。引き続き、気を抜くことなく対応ください。

## 報告第 42 号 平成 26 年度岸和田市水練学校のまとめについて

### ○中野委員長

それでは続いて、報告第 42 号 平成 26 年度岸和田市水練学校のまとめについて、事務局より説明をお願いします。

### ○寺田学校教育課長

今年度の岸和田市水練学校は、7 月 22 日から 8 月 1 日までの土曜日・日曜日を除く 9 日間で実施し、市内小学校 5・6 年生の希望者 547 名が参加しました。一日平均出席児童数は 465.8 人で、中級以上の進級生徒の割合は 87.9%、上級以上の進級生徒の割合は 51.9%となっています。

また、指導員の出勤人数は一日平均 33.7 人、指導員一人あたりの児童数は 13.8 人となっています。

### ○谷口委員

PTA の方から「全ての学校にプールがないため、入る機会が少ない」旨のご意見がありました。このような取組みを実施していることをもっと PR していただきたいと思います。

### ○川岸委員長職務代理者

来年度から「初心者水泳教室」の対象学年に 4 年生も含まれる予定があることを聞いた保護者は、たいへん喜ばれています。是非とも実行していただきたいと思います。

### ○直スポーツ振興課長

前向きに検討しています。

## 報告第 43 号 第 68 回大阪府総合体育大会、泉南地区大会成績及び中央大会出場について

### ○中野委員長

次に、報告第 43 号 大阪府総合体育大会、泉南地区大会成績及び中央大会出場について、事務局から説明をお願いします。

### ○直スポーツ振興課長

本件については、泉南地区大会の成績及び中央大会出場種目について、ご報告するものです。泉南地区大会につきましては 6 月 29 日、7 月 6 日の 2 日間開催され、全 12 競技種目の内 10 競技種目（卓球、軟式野球、ソフトボール、ソフトテニス、バドミントン、バスケットボール、サッカー、柔道、剣道、弓道）が中央大会への出場権を獲得いたしました。

今年度の中央大会は、北河内・中河内地区が主管し、8 月 24 日、同 31 日、9 月 7 日の 3 日間開催されます。詳細については別紙のとおりとなっております。

### ○中野委員長

昨年より出場種目が増えているので、よい結果を期待します。

## 報告第 44 号 第 27 回濱田青陵賞授賞式及び記念シンポジウムの開催について

### ○中野委員長

続きまして、報告第 44 号 第 27 回濱田青陵賞授賞式及び記念シンポジウムの開催について、

事務局から説明をお願いします。

#### ○小堀郷土文化室長

考古学などの優れた研究者に贈られる濱田青陵賞の授賞式と記念シンポジウムを、9月20日午後1時から岸和田市立文化会館（マドカホール）で開催いたします。今回の受賞者は、京都大学大学院文学研究科教授の吉井 秀夫 様で、記念シンポジウムのタイトルは「波濤をこえてー古代東アジアの交流史ー」です。周知方法については、広報きしわだ9月号、岸和田市ホームページ、朝日新聞に掲載するとともに、過去の参加者へダイレクトメールを発送いたします。

#### ○中野委員長

全国的に有名になってきており、文化的にも大きな意義があると考えます。ちなみに、参加者数等はわかりますか。

#### ○小堀郷土文化室長

平成25年度の数字になりますが、参加者数は301人（招待者等除く）で、その内訳は市内78人（25%）、市外159人（52%）、府外64人（21%）となっています。なお、府外の方においては、東は埼玉県、西は鹿児島県から参加いただきました。

#### ○中野委員長

報告は以上ですが、ほかにご質問、ご意見等ありませんか。無いようですので議案の審議に移ります。

### 議案第43号 岸和田市教育委員会の点検・評価報告書について

#### ○中野委員長

それでは、議案第43号 岸和田市教育委員会の点検・評価報告書について、事務局より説明をお願いします。

#### ○大西総務課長

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項の規定により、教育に関する事務の管理、執行の状況について、点検及び評価の結果に関する報告書（案）を別冊のとおりまとめておりますのでご審議いただきたいと思っております。承認されましたら第3回定例市議会で報告し、市民へ公表してまいります。

報告書（案）ですが、平成25年度に実施した、主な施策・事業22事業について、教育委員会事務局自らが行なった点検・評価と教育委員会会議の実施状況、教育委員の主な活動状況をそれぞれシートにまとめ、その点検・評価に対して学識経験を有する評価委員の方々から意見を頂き、その意見に対する教育委員会の考え方などを掲載しております。

#### ○中野委員長

項目番号1の学力向上支援事業・読書活動事業については、本市の小学校において素晴らしい取り組みで、大きな成果をあげている学校がありますので、この取り組みを広く紹介していただきたいと思っております。その方法として、従前からお話ししているように、子供・保護者・教員を含んだ形のフォーラムを是非検討ください。

また、学校図書館コーディネーターについて、連携を深め個々が持つノウハウを共有することでスキルアップにつなげる意味からも、研修回数を増やしていただきたいと思います。

#### ○谷口委員

項目番号3番の産業高等学校における専門教育の充実については、少ない予算にもかかわらず多くの取組みを実施されていると思います。より充実した内容での取組みを進めていただきたいと思いますので、予算獲得に努めてください。

#### ○中野委員長

気になる箇所が数点ありますので、順に申し上げます。

まず、「5. 事業の概要及び目標」欄について、平成元年の岸和田市産業教育審議会答申と同様の内容になっており、平成22年の答申内容が反映されていません。目標が漠然としているため、学校経営の基本理念が教員に明確に伝わっているのか疑問です。

次に「8. 平成25年度の取組み状況」欄について、「1年生に学力テストを取り入れ実施・分析を行った」と記載されていますが、その結果をどう活用したのかが明記されていません。「4年制大学への進学希望対応」「各種検定試験合格への取組み強化」という記載についても同様で、具体的な取組みを記載すべきと考えます。

また「9. 評価」欄の「点検結果」部分の「就職・進学両面にわたる取組みが充実したものとなっている」という記載についても、判断根拠が明確になっていません。

努力いただいていることは理解していますが、対外的にその取組みを発信しPRすることが重要であると考えるので、ホームページ等を活用し情報発信して、開かれた学校づくりを推進してください。

#### ○谷口委員

項目番号12番の公民館・青少年会館等の管理運営について、「9. 評価」欄の「課題・方向性」において記載されているように、利用者層の固定化が課題になっています。気軽に利用できることをアピールすることが大切だと思います。

また、「地域活動の拠点として、町会等を含む地域団体との連携を深めていく」という部分はたいへん重要であると考えます。コミュニティの希薄化が今日的な課題になっていますが、地域コミュニティの拠点としての役目を担うため努力いただきたいと思います。

#### ○中野委員長

本市の公民館等の運営に関しては「岸和田方式」と言われるように、自立型の地域に密着した活動が行われていることで高く評価されています。継続して取組んでいただくようお願いします。

#### ○野口委員

項目番号2番の「あゆみファイル」の活用についてですが、岸和田市の特徴である「あゆみファイル」が十分に活用され、支援教育が充実してきたとの印象を受けました。ただ、就学就園指導を受ける人数が増加の一途をたどる等、社会情勢も変化しており、適正就学指導委員会制度も時代に応じたあり方を検討する時期がきているのではと考えています。「9. 評価」欄の「課題・方向性」部分への記載がないのが気になりました。

また記載されてはいますが、「支援学級及び通常学級における指導方法の更なる充実」についてはたいへん重要な課題であり、是非具体的に検討ください。

○中野委員長

項目番号 10 の体力向上の取組みの推進に関しては、単発的な取組みでは成果が期待できないので、中長期的な展望に立った取組みを検討ください。

また、項目番号 17 番の各種スポーツ大会等の実施、18 番の各種スポーツ施設の管理運営について、本市ではスポーツ活動が多く多くの市民に受け入れられ、大きな成果をあげています。参加者が熱心であればあるほど要求も大きくなると思いますが、その思いをしっかりと受け止め対応いただくようお願いいたします。

○谷口委員

項目番号 21 の教育委員会会議の実施に関係することですが、教育委員の活動についてもホームページ等を活用していけばどうかと思っています。

○中野委員長

他にないようですので、原案のとおり承認いたします。

○中野委員長

これもちまして、8月の定例教育委員会は閉会とさせていただきます。

閉会 午後4時10分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

委員長

署名委員